

※ 事務局による類型
 ■:A 「チャレンジ!!」達成済
 ■:B 具体的取り組みを実施中
 □:C 未着手(取り組みを検討中)

第2章 ネットワークで築く地域の個性・特色を生かした多機能都市づくり

施策コード	施策名	チャレンジ	平成27年度の取り組み		今後の方針	審議会意見
			類型 ※	取り組み状況		
211	高速交通ネットワーク	松本・佐久間の地域高規格道路の建設実現を目指します。	B 具体的取り組みを実施中	松本地域、上小地域及び佐久地域を地域高規格道路で結び、各地域の交通と産業経済の発展を図るため、関係団体によって同盟会を組織し、要望活動を行った。	整備には、県が地域高規格道路の候補路線として位置づけることが前提となることから、関係市町村と連携を密にした取り組みを進めていく。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
212	地域交通ネットワーク	市民の日常生活に必要な交通移動手段を確保・維持するため、民間交通事業者、市民と一体となって地域公共交通の充実に取り組みます。	B 具体的取り組みを実施中	運行状況の検証、利用者等からの停留所の追加、運行経路の一部変更、巡回バス展示広報、乗車ヒアリング等の各種調査等を努めてきたことと、平成26年10月のデマンドタクシー土曜日の運行開始等のダイヤ改正の効果から、平成27年度中の延べ利用者数は、104,871人と前年度より増加した。引き続き多くの市民に公共交通利用促進を理解していただき増加傾向を維持していくことが課題である。	今後更に高齢化社会の進展等、公共交通の需要は高まっていくと予想されることから、利便性の向上や市民ニーズを踏まえ新たに「佐久市地域公共交通網形成計画」を策定し、将来に亘って持続可能な効果的・効率的な公共交通体系を構築する。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
221	土地利用	産業の活性化、雇用の増大を目指す、土地の有効利用を促進します。	B 具体的取り組みを実施中	国土利用計画の方針に沿って商業集積及び企業誘致が図られるよう市内適地について、全庁横断的な体制で、協議・検討を行った。	中部横断自動車道の佐久南IC以南の開通や北陸新幹線の延伸により、商業集積及び企業誘致に好機となる時期であるので雇用増大につながる土地利用を全庁的に推進していく必要がある。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
222	市街地	都市計画マスタープランに基づき、地域の特性を生かしたまちづくりを進めます。	B 具体的取り組みを実施中	市内6箇所ですでに地区計画区域内における行為の届出に基づき、適合審査を行った。(平成27年度審査実績17件) また、良好な市街地の形成、生活環境の保全を図るため、開発指導者に対して、佐久市開発指導要綱に基づく適正な指導を行った。(平成27年度審査実績32件)	引き続き、地区計画並びに開発指導要綱に基づく適切な開発指導を行う。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
223	住宅・宅地	公営住宅の管理方法について、指定管理者や管理代行制度などを研究し、効果的な手法を導入します。	B 具体的取り組みを実施中	市営住宅1,082戸(公営住宅834戸、改良住宅63戸、厚生住宅127戸、特定公共賃貸住宅26戸、その他住宅32戸)の緊急修繕、計画修繕等の維持管理及び、使用料徴収等を管理代行及び指定管理により長野県住宅供給公社に委託した。	今後も委託先である長野県住宅供給公社と連携を図り、市営住宅入居者の住環境の保全と、使用料徴収率の向上を目指す。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
231	高度情報通信ネットワーク	市内の(市外でも)どこでも市役所とつながる、「電子自治体」を実現します。	B 具体的取り組みを実施中	電子申請システムの活用を各部署へ直接勧奨或いは庁内LAN掲示板により活用促進を図った。 H25年度実績 28項目 申請件数1658件 H26年度実績 31項目 申請件数 771件 H27年度実績 27項目 申請件数 777件	電子申請を活用できていない部署へ、活用促進の勧奨をする。 平成30年度、電子申請システム共同利用の更新を向かえるが、次期電子申請システムは各部署が現在より更に活用しやすいシステムが導入できるよう、調達元(長野県市町村自治振興組合)へ要求する。 自治体クラウドへの参加を検討する。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。

第3章 100万経済圏を目指した産業基盤の強化と新たな産業の創出

施策コード	施策名	チャレンジ	平成27年度の取り組み		今後の方針	審議会意見
			類型 ※	取り組み状況		
311	農業	本市の風土や条件に適した新品目の導入を図ります。	B 具体的取り組みを実施中	新品目導入試験ほ場において、実証試験栽培をしてきた、カモミールについてJA佐久浅間において17人が加入し生産部会が発足した。また、優良品種選定試験においてミニトマト2品種など有望な品種が選定され普及が開始された。	新規就農者に向けた講習や、技術指導会の実施を始め、より多くの品目が普及できるよう、市の施設などでPRを行っていく。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
312	水産業	佐久鯉の消費拡大のために、新しい調理法や新商品を開発します。	B 具体的取り組みを実施中	鯉の消費が冬の需要期以外でも伸びようよう、広報紙における8月のメニュー提案を実施した。	水産業全体の活性化が図られるよう、鯉に加え、水田鮒の生産拡大を目指した事業展開を開始する。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
313	林業	地場産材であるカラマツ材などを公共施設などに活用し、地場産材の利用を推進します。	B 具体的取り組みを実施中	平成24年度に策定した「佐久市公共建築物・公共土木等における木材利用促進方針」に基づき、市が行う公共事業は、出来る限り地域材を利用することを関係課へ周知したことにより、施設建設の際に地域材が利用された。	市が実施する公共事業における地域材利用の推進を通じて需要が生まれることにより、森林整備を促進していく。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
321	商業・サービス業	商店会組織の機能強化と活性化を図り、地域商店街の魅力を向上させます。	B 具体的取り組みを実施中	商工団体、金融機関等との連携により、経済状況等に応じ融資の手続きを進めた。また、成果の把握に留意し、商店街組織の行う「まちおこし事業」等に対する支援を継続して行った。今後も既存商店街と地域の活性化に配慮した商業集積を図るため、空き店舗の有効活用を推進する必要がある。	国内の景気は回復傾向にあるものの、地方経済への波及効果は遅れており、商工業者の経営は厳しい状況が続いている。引き続き、商工団体、金融機関等との連携により、経済状況等に応じた施策を進めることで、地域商店街の魅力を向上させ、地域経済の活性化を推進する。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
331	観光	市民交流ひろばを活用した大型観光イベントを実現します。	B 具体的取り組みを実施中	北陸新幹線開業に伴う北陸方面への観光宣伝として、熱気球を使ったイベント参加を実施した。軽井沢からの誘客として、FM軽井沢の出演や観光施設などへの誘客PRを実施した。各種連絡協議会等の広域的連携による観光宣伝を実施した。市民交流広場でのバルーン搭乗体験による誘客宣伝を実施した。	首都圏、北陸方面、中京圏などの各種イベントに参加したうえで、積極的に観光誘客宣伝を実施していく。また、協議会等を有効に活用し効果的なPR活動を進めていく。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
341	工業	企業立地を実現させるとともに、医療・健康・福祉関連産業の創出と集積を目指します。	B 具体的取り組みを実施中	企業立地については、産業立地推進員の企業訪問や迅速な対応の結果、平成27年度は2社の立地に成功した。しかし、後期基本計画で設定したチャレンジ内容の「医療関連企業の集積」には至らなかった。工業振興においては、ものづくり支援事業や販路拡大事業により既存企業の新産業創出のための支援を行った。	今年度予定している、佐久市健康長寿産業振興協議会の設立及び、佐久市健康長寿産業振興ビジョンの策定により、既存企業による医療、福祉関連産業の創出を新たに図ることができる。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。
351	就労・雇用	地域内の働く場と雇用機会を確保し、新規学卒者の地元企業への就職を促進します。	B 具体的取り組みを実施中	就職支援員による、企業や学生等のニーズ把握や分析により施策の改善を図るほか、社会情勢に対応した支援策を検討した。	就職支援員による、関東圏の大学、短大等への訪問により、市内企業のPRを進めるとともに、ハローワーク等の関係機関と連携する中で、雇用の創出を図る。	現在の取組を「チャレンジ!!」達成につなげることができるよう、さらなる努力を期待したい。